

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ゆいまーる・ふくしま		公表日		令和7年3月15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	児各々のスケジュールで同じエリアに多人数集まらないよう調整している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	5	子どもの安全が保障できないと危惧されるような職員数になった場合は、法人内の別事業所から手伝いに来てもらうなどしている	職員数が手薄の時間帯に児の人数を多くしないなど利用時間設定の工夫
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	パーテーションを使用する等、各利用児に合わせ対応している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	職員による毎日の清掃で清潔を保つようにしている。また定期的に実施する環境整備で、事業所全体の美化や再構造化に取り組んでいる	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	クールダウンに使用する場所やそれぞれ落ち着いて取り組める場所があれば、柔軟に使えるようにしている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	支援後、振り返りを実施したり、定期的に会議を開いたりしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		職員全員に周知し、共通理解を図る（パート職員等に伝わりにくい）
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	支援会議で意見交換している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		第三者評価は受けていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	各機関からの送られてくる研修案内等を回覧・周知し、参加の機会が得られるようにしている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1		まだ公表していない。令和7年4月から公表。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	利用開始時にキットを活用したインフォーマルな評価を実施。その後の療育の中でも必要に応じ実施している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	支援会議の中で検討されている	研修やコンサルテーションを積極的に受けることで、職員のアセスメント力、それを分析して支援に繋げていく力の底上げが必要
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		思いついた時に計画を見るのではなく、常に目にできるような環境設定を検討する
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	外部機関でフォーマルアセスメントを実施した児についてはそれを共有させていただき、支援の参考にさせてもらっている	フォーマルアセスメントを実施できる人材の確保
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		各項目について職員全体で共通理解を持てるよう、勉強会を重ねる必要性あり
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	日々の振り返りや支援会議の中で検討、共有している	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	1人1人の好子のアセスメントを随時行い、プログラムに取り入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		計画に明確に組み込まれていない場合もある
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝の支援前のミーティングで確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	振り返り時に出た意見や次につなげていくべきことは必ず記録している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	連絡帳に実施した支援やその日の児の状態、考察などを記録して保護者とも共有している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		日々の振り返りの中で次々と成長、変化する児のスピードに計画が追いついていないと感じるケースも多く、目標設定も難しいと感じる
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		児発管がほぼであるが、もっと他の職員にも参加させるべきだと考えている
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	保育所や幼稚園が主であることが多いが、相談支援員がついているケースでは行政とのつながりも持っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		もっと積極的に働きかける必要があると認識はしている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	入学支援シートの記入や入学支援会議の開催を希望するよう保護者に勧めている。学校によっては会議の開催を必要としない場合もあるが、こちらが必要を感じるケースには学校への働きかけもしている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			同法人に児発センターがあるので助言を受けやすい環境にある	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	未就園のお子さんと一緒に、地域の公園や公共施設に出かけている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	保護者から連絡帳に相談などの記載がある場合にはできる限り応えるようにしている。必要に応じて電話や面談で詳細を聞きとり対応している	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	ペアプロは年に1回、保護者学習会は年に4回実施している	学習会への参加が少ない。案内の仕方や内容を工夫する必要あり。ペアプロは参加人数が少ない場合、同法人の児発センターと合同で実施するなどしてできる限り開催するように努めている
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	利用開始時に説明するとともに、法改定などで変更がある場合には文書を出すなどして対応している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	利用開始時に聞き取る機会を設けている。また日々の面談や送迎時での立ち話でも参考になる場合が多い	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		面談する機会を設けられない場合、保護者の送迎の際の簡単な説明になってしまう場合もある
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1		定期的に全員に対しては行なえていない
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2		保護者会等は設置していないので、保護者学習会等で機会を作りたいと考えて工夫はしている。きょうだいまでは手が回せていないのが現状。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		情報発信の手段を今の時代に合ったものに見直す必要を感じている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	できる限り各自に合った方法で行うよう配慮している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		法人全体での行事のみで、事業所単体としては実施していない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		利用開始時に説明しているが、それきりになってしまうので家族の印象に残っていないと思われる。周知方法を検討していく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	年度計画に盛り込んで実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	利用開始時に行なっている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	利用開始時に有無は確認し、対応マニュアルを作成し職員間で共有している	医師の指示書までは確認していない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		安全計画への認識が薄い
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		利用開始時に説明しているが、それきりになってしまうので家族の印象に残っていないと思われる。周知方法を検討していく
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	日々の振り返りや支援会議で話し合うようにしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	研修のみならず、日々の支援が適切なものか振り返るようにしている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	利用開始時に説明している（該当児は今のところいない）	